

【No. 1】 わが国の商業生成に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 都における東西市：室町時代
2. 楽市・楽座：安土桃山時代
3. 小売商：江戸時代
4. 問丸：鎌倉時代

答. 1

【No. 2】 ユダ人、インド人、中国人を、世界の三大商人と呼んでいる。次の記述のうち、日本の三大商人と言われているものはどれか。

1. 大阪商人、近江商人、伊勢商人
2. 大阪商人、江戸商人、博多商人
3. 大阪商人、富山商人、堺商人店
4. 大阪商人、甲州商人、長崎商人

答. 1

【No. 3】 楽市・楽座とは、豊臣政権や戦国大名などにより城下町などの支配地の市場で行われた経済政策である。次のうち誤っているものはどれか。

1. 規制が緩和されて自由な状態となった
2. 円滑な商品流通の妨げとなる特権的、排他的な組織を否定した
3. 他国の商人の往来を禁止した
4. 取引税を免除した

答. 3

【No. 4】 2008年のリーマンショック（米国リーマンブラザーズ経営破綻）後に、わが国でも台頭してきた小売業態に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. アウトレットモール

2. エキナカ
3. ディスカウントストア
4. ファストファッション

答. 4

【No. 5】 わが国の商業集積立地の変遷についての記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 明治期：近代化を象徴する鉄道交通の出現により、移動に革命的な変化をもたらされ「鉄道駅」＝人が集まる場所として定着しはじめた
2. 戦後復興期：東京や大阪の主要駅に直結した百貨店がはじめて出現した
3. 昭和後期：商業集積が都市部の交通結節点から郊外の幹線道路沿いにシフトしはじめた
4. 平成期：まちの機能を中心市街地に集中させて徒歩による生活を可能とするコンパクトシティの実現に向け、まちづくり三法の改正法が 2006 年に成立した

答. 2

【No. 6】 次の文章の、 に入る語句として、**最も適当なものはどれか。**

『マーケティングの要素は、発想、価格、、流通の 4 つの活動を計画し実行することである（アメリカ・マーケティング協会）。』

1. 広告
2. ショールーム
3. CS（顧客満足度）
4. プロモーション

答. 4

【No. 7】 小売業の商圈に関する経験的法則が、米国の研究者等によって発表されてきた。次の記述のうち、発表された順に並べたもので**最も適当なものはどれか。**

- A 買物確率の公式 (D. L. Huff)

- B 小売引力の法則・第1公式 (W. J. Riley)
- C 小売商圈分岐点公式 (P. D. Converse)

1. B→A→C
2. A→B→C
3. B→C→A
4. C→B→A

答. 3

【No. 8】 いわゆる「買物弱者」への問題解決に向け、経済産業省が作成した『買物弱者応援マニュアル (ver. 3. 0)』に掲げた取組みに関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 会食などにより、コミュニティを形成する
2. 宅配や配食など、家まで商品を届ける
3. 歩いて買い物できる、街中居住をすすめる
4. 移動販売など、家の近くにお店をつくる

答. 3

【No. 9】 生活と商業に関する次のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 国が認めた J A S マークは、このマークがついている食品は基準以上の品質があるもので J A S 規格に合格した食品についているマークである
2. J I S 規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の答申を受けて、主務大臣が制定する工業標準であり、国際工業標準である
3. 経済産業省が創設した「グッドデザイン商品選定制度」に基づく優れた商品に認定を付与し品質の向上に努める
4. 経済産業大臣指定「伝統的工芸品」は、伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づいて経済産業大臣により指定された日本の伝統工芸品を指す

答. 2

【No.10】 次の文章の、 に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『2014年8月、都市再生特別措置法が改正され、立地適正化計画制度が創設された。これは高齢者をはじめとする住民の福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、「コンパクト・プラス・」の考えで進めていくとの観点に立ったものである。』

1. ウェルフェア
- 2.ムーヴメント
3. ネットワーク
4. メンテナンス

答. 3

【No.11】 「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して、環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた『環境保全型商品』のもつ性質に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 通常の商品に比べて価格が高くなる傾向がある
2. 資源やエネルギーを節約している
3. 製品や容器などがリサイクルしている
4. 使用や廃棄に際して環境を汚染していない

答. 1

【No.12】 店舗の色彩計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. テーマカラーは施設のメッセージ、特徴を端的に示し、施設が何であるかなどを視覚的に訴求するための色である
2. 高揚感を出すためには高明度のパステル系の色彩を入れると効果的である
3. シーズンカラーを年間ストーリーとして変える手法で顧客を飽きさせない構成を意識することが大切である
4. 色彩は照明によって見え方が変わるため、照明の照度・光色・演出性が重要なポイントである

答. 2

【No.13】 コンビニエンスストアにおける I C T の利活用に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 大手コンビニエンスストア 5 社は消費者が自分で会計をするセルフレジの導入を推進している
2. マルチメディア端末による自治体の印鑑登録証明書を発行することは出来ない
3. 電子ペーパーによる電子値札の導入によって、自動で価格の変更が容易になる
4. マルチメディア端末により E C サイトなどの購入決済は可能である

答. 2

【No.14】 コンビニエンスストアのプロモーションに関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. ポイントカードの利用で割引などの様々な特典が用意されている
2. QRコード決済導入によるプロモーション活動が問題になっている
3. クーポンサイトなどの連携したプロモーション活動が進んでいる
4. F C 店のアルバイト確保が困難なため、営業時間の短縮などの問題が検討されている

答. 2

【No.15】 電子商取引市場（E C）に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. E C 国内市場において B to C 市場は 16 兆円を超え、C to C 市場も 5,000 億円近くになった
2. 世界の越境 E C 市場は 2017 年度に 50 兆円を超え 2020 年度には 100 兆円と予測されている
3. 世界の電子商取引市場は、1 位米国、2 位中国、3 位日本である
4. 中国から日本の商品を越境 E C で購買する理由の 1 位は品質が保証されるからである

答. 3
